

不登校・ひきこもり（おとな）の家族学習会

♡しゃべるの会♡

現時点では会場での開催を予定していますが、ウイルス感染状況によりZOOM（ズーム）開催に切り替える可能性があります

◎民間非営利相談機関「ヒューマン・スタジオ」が開催している、テキストと担当者付きの家族会。スタジオが配信しているメールマガジン『ごかいの部屋～不登校・ひきこもりから社会へ～』の新しい号をテキスト（対象号）に使用。筆者である担当者に直接質問したり、テキストの内容にとらわれずに同じ立場のご家族どうして自由に語り合ったりすることができます。

◎テキストの筆者とともに、大切なものを掘り当ててみませんか。

関係者の見学席を設けます。ご承知おきください。

第59回（不登校編）・第60回（ひきこもり編）

開催日：第59回＝10月18日（日）

第60回＝10月24日（土）

時間：各回13時半～16時半

会場：第59回＝逗子文化プラザ市民交流センター

第60回＝ひらつか市民活動センター

※ひきこもり親の会「すばる」と共催

対象号：243号（2020.8.8）

参加：原則として、おおむね20歳の上下または学校在籍の有無でいずれかをお選びください。

定員：5名（申し込み先着順）

※今回はウイルス感染予防のため少人数開催

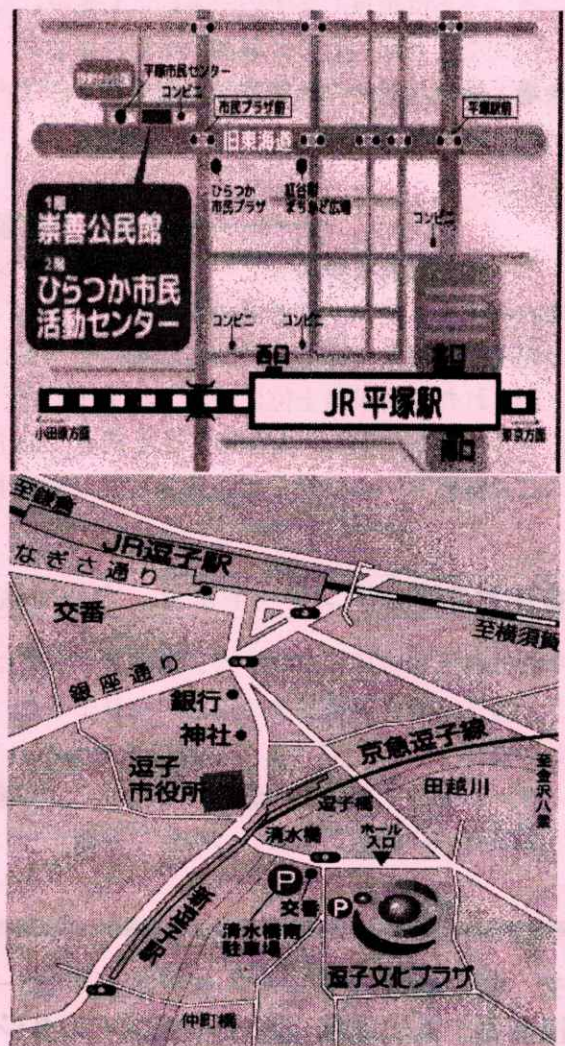
費用：ひとり500円（席料兼資料代）

申込み：電話・メール・FAX（裏面申込欄使用）のいずれかで下記に（今回はオンライン開催に対応できるかどうかもうかがいます）

不登校とひきこもりでは状態の上下で本人も家族も一喜一憂しがちです。今回のテキスト（対象号）は、プロスポーツの再開などにちなんで「勝負」と「不登校／ひきこもり対応」の違いを解説した文章です。

問合せ先：ヒューマン・スタジオ

TEL0466-50-2345/メール husta.maru@gmail.com



★本欄で2名様までお申し込みいただけます。なお空欄がある場合は受け付けません。

- ※「ひきこもり編」「不登校編」のいずれかにチェック印を記したうえ、すべての欄にご記入ください。
- ※「連絡先」欄には、緊急連絡先に使用して差し支えないものを丸で囲んでいただいたうえ、電話またはFAXの場合は番号を、メールの場合はアドレスをご記入ください。
- ※「オンラインに変更したら」欄には、ZOOMという会議アプリを使用してインターネット上で開催することになっても参加できるかどうかについて、いずれかにチェック印をご記入ください。

| | | | | | |
|-------------------------------|---|--|---|----------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 不登校編 | | <input type="checkbox"/> ひきこもり編 | | 連絡先 (TEL FAX MAIL) : | |
| お 名 前 | 様 | ご | 〒 | お子様の年齢 | |
| | 様 | 住 | | | |
| オンラインに変更したら : | | <input type="checkbox"/> 参加できる <input type="checkbox"/> アプリの使い方を知れば参加できる <input type="checkbox"/> 参加できない | | | |

全体要項

内容: テキストの読み上げと補足説明→自己紹介→休憩→フリートーク→アンケート記入 (テキストは用意しますので事前にお読みにならなくても安心してご参加いただけます)

会場: 神奈川県内の公共施設 (横浜市・逗子市・平塚市など)

担当: 高校を不登校のため7年かかって卒業。大学卒業後、高校講師、ひきこもりを経て1999年から対人援助の研修と不登校支援活動に参加。2001年ヒューマン・スタジオ設立。相談業務のほか多彩な関連業務が好評で、特にメールマガジンの一部は2014年4月に出版。

~~~~~テキストに使用するメルマガのご案内~~~~~

テキストとして使用しているメールマガジンをお読みいただくには、読者登録が必要です。「ごかいの部屋」で検索すると、同誌名に続いて「まぐまぐ」と記された項目が最上位に表示されますので、それをクリックして同名の配信サイトを開き、右上の窓にご自分のメールアドレスを入力して「登録する」

ボタンをクリックしてください。以後2か月に1回ほかのメールと一緒に届きます。  
なお、今年度からnote(ノート)という媒体に過去の号に掲載した文章から100本(予定)厳選して毎週火曜日に1本ずつ転載しています。「丸山康彦 note」で検索してお読みください。

**参加者の声 (アンケートより。カッコ数字は開催回)**

今回はお父様のほうが多くて、親の会としては実に珍しい状況では?! と思いました (11) /初めての参加で、皆さんの体験談が本当に力になりました。いっしょに泣いてくださって…あたたかいばかりでうれしかったです (22) /こうしていけば子どもも私も前を向いていけるのではと明るい気持ちになれました (33) /ゲームやツイッターの話題だったので、共感してもらい、また共感できて、ありがたい時間でした (44) /私自身の心の安定に役立つ内容で有難かったです (55)

**主催:** ヒューマン・スタジオ (〒251-0052 藤沢市藤沢19 /メール husta.maru@gmail.com)  
**担当者:** 丸山康彦 (ヒューマン・スタジオ代表兼相談員 / 『ごかいの部屋』筆者 / 元当事者)